



## ■ 副腎不全カード アンケート結果の発表

北海道大学病院 内科Ⅱ 亀田 啓先生

患者会の皆様にはいつも大変お世話になっております。ご協力いただいた副腎不全カードについてのアンケート結果を先日高知市で行われた第29回内分泌代謝 UPDATE でお時間をいただき『患者さんの声を聴く：患者会“下垂会”のアンケート結果より』という題名で発表させていただきましたので報告させていただきます。当日は約40名が参加し、発表後には会場から質問やご意見もいただきました（写真）



発表内容はアンケート結果の報告とそこから得られた今後の改善すべき点について議論しました。アンケート回答者中78%の方が副腎皮質ホルモンの補充を受けており、副腎不全カードを常に携帯している方はそのうち69%、約半数の方が副腎不全を経験されているという結果でした。具体的な意見としてはカードの認知度が低く救急外来で適切な対応を受けられなかった、カードの内容が不十分（治療内容、英語表記が十分でない）、携帯場所が救急隊に伝わっていない、カード以外の携帯が必要などでした。

今回のアンケート結果から得られた今後の改善点としては、副腎不全カードを内分泌専門医ではない医療者へより周知すること、非専門施設での副腎不全時の対応の改善、カードの内容の充実、カード以外の携帯しやすい形態を考えるなどがあげられます。

特に内分泌を専門としないが、救急の場で患者さんを診察する可能性のある医師に副腎不全カードのことを知っていただく事が重要と考えられますので、内分泌関連学会以外の学会にも働きかけていきたいと考えています。

また、会場内では参加していただいた医師にもアンケートを取りましたので、患者さんからの結果と合わせて副腎不全を持つ患者さんの診療を向上できるように生かしていきたいと考えています。

今回のアンケートにご協力いただいた患者会の皆様に深くお礼を申し上げます。また、島津章先生、山田正三先生、福岡秀規先生、亀田巨先生には抄録・スライドの作成にあたり

ご協力をいただき、また第29回内分泌代謝 UPDATE 会長の岩崎泰正先生には学会のタイトなスケジュールの中で発表の時間を作っていただきました。この場をお借りして感謝を申し上げます。

## ■ 会員情報

2019年12月15日現在

正会員数	291名
賛助会員数	41名

## ■ 総会のご報告

2019年06月30日に開催させて頂きました。

昨年度に引き続き、はむろ・森合・江口の3名合議制にて進めていく事、並びに理事数名を総会参加者の方によりご承認頂きました。

## ■ 第92回 日本内分泌学会学術総会

2019年05月09日～11日の3日間、ブース出展させて頂きました。3日間あわせまして50名近い先生方にお立ち寄り頂きました。色々な意見交換をさせて頂き、この繋がりを皆様に還元出来るよう頑張ってお参ります。

## ■ 第53回 日本小児内分泌学会学術集会

2019年09月27日～28日の2日間、ブース出展させて頂きました。2日間あわせまして20名近い先生方にお立ち寄り頂きました。色々な意見交換をさせて頂き、この繋がりを皆様に還元出来るよう頑張ってお参ります。

## ■ 第29回 臨床内分泌代謝 Update

2019年11月29日～30日の2日間、ブース出展させて頂きました。2日間あわせまして30名近い先生方にお立ち寄り頂きました。また、先日皆様にご協力頂きましたアンケート結果を基にした発表をして頂きました。

## ■ 福岡講演会

2019年03月23日、福岡県筑紫野市におきまして昨年に引き続き3回目となります講演会を開催致しました。昨年に引き続き阿部一朗先生（内科）と初めての試みとして阿部先生の患者様2名にもご講演を頂きました。

30名以上の方にご参加頂き、医師による講演以外に患者による講演もあったことで、その後の質疑応答含め皆様大変満足して頂きました。

## ■ 東京講演会（総会同日開催）

2019年06月30日、東京都江戸川区におきまして総会後に講演会を開催させて頂きました。

三木伸泰先生（内科）に『薬で治せない間脳症状、薬で消せる下垂体腫瘍』をテーマにご講演頂きました。薬をテーマにした講演内容で、総会からの引き続きの方がほとんどでしたが、40名以上の方にご参加頂き大変満足して頂きました。

## ■ ～第5回 先生による下垂体 etc.～

### 先端巨大症の合併症について

神戸大学医学部附属病院 糖尿病・内分泌内科  
福岡 秀規先生

令和元年初の年の瀬が近づいてまいり、患者会の皆様には慌ただしい日々をお過ごしのことと存じますが、体調は如何でしょうか？さて、今回は先端巨大症の合併症について、最近の話題、現在の問題点として医師の中で議論となっている点をお話しさせて頂こうと思います。

先端巨大症の合併症としては①成長ホルモン(GH)過剰に伴う症状、②下垂体にできた腫瘍そのものによる症状(頭痛、視野障害、下垂体機能の低下など)があります。先端巨大症の治療目標は、これらの合併症の進行を抑え、改善を目指すという点にあると思いますので、GHやIGF-I(GHの分泌を表す指標として現在最もよいと考えられているもの)の値を正常化させる事、腫瘍を縮小させる事を通して合併症をうまくコントロールすることが重要です。先端巨大症は適切に治療しないと寿命が短くなることが知られていますが、その原因として心血管イベント(心筋梗塞など)が多く、その予防を念頭に治療をすすめていくことが必要です。GH過剰により、糖尿病、高血圧症、脂質異常症を合併しやすくなり、このことが動脈硬化、心血管イベントを招きます。そのため、先端巨大症の治療のなかでは、糖尿病、高血圧症、脂質異常症のコントロールを適切に行っていくことが重要です。もちろん、喫煙は明らかな独立した動脈硬化のリスクとなりますので、禁煙を強くお勧めします。

糖尿病は先端巨大症の30-50%に認められますが、糖尿病自体が全国的に増えていることもあり、本症でもその頻度は増えていると考えられています。糖尿病の治療は通常の糖尿病患者さんと大きくは違わないですが、先端巨大症に対する薬物療法を行う場合は、血糖に影響を与える薬物も存在するので、医師とよく相談しながら治療していくことが必要です。

高血圧症はこの病気に多い合併ですが、これはGH過剰により体に塩がたまりやすくなる事が原因の一つです。この事から、本症の患者さんで高血圧症のある方は、減塩をされるのがとても重要だと思いますし、それでも下がらない場合は主治医に相談の上、薬を使って調整することが大切だと思います。本症において高血圧症は死亡率の上昇、心血管イベントと関連しますので、自宅での血圧測定をし、その値を主治医に伝えていただくと、より治療がうまくいくのではないかと思います。

最近の先端巨大症のデータでは心血管イベントで亡くなる方の割合が減少してきており、これは先端巨大症自体の治療や心血管イベントを予防する治療が進歩していることが影響していると考えられます。最近、本症ではむしろ悪性腫瘍で亡くなる方が増えているのではないかと懸念されています。先端巨大症で多いといわれている癌は甲状腺癌、大

腸癌ですので、これらについては検査を受けられることを推奨いたします。

睡眠時無呼吸症候群(SAS)は咽頭部軟部組織の肥大や巨大舌により生じますが、これが高血圧症、不整脈、心筋症、狭心症などと関連する事が最近の研究で明らかになっています。GHをコントロールすることで改善が期待されますが、それだけでうまくいかない場合もあり、そういった場合にはSAS自体をCPAPという機械を用いて治療することも重要です。

先端巨大症では骨代謝が亢進しており、椎体骨折が健康な人と比べ3-8倍リスクが高くなることが分かっています。特に性腺機能の低下している患者さんがそのリスクが高いので、適切な補充を検討する必要があります。また、先端巨大症ではビタミンD欠乏を合併する事が多いので、魚、キノコ、きくらげ、牛乳などのビタミンDの多い食材の摂取が骨にとってよい効果があるかもしれません。ただ、過剰な摂取にはご注意ください。

次に下垂体腫瘍そのものによる合併症ですが、先端巨大症は1cmを超える腫瘍が多く、その圧迫により、下垂体機能が落ちていることがあります。特に性腺機能の低下が本症の50%で合併しているという報告もあります。性腺機能低下は、もちろん性欲低下、不妊になりますが、内臓脂肪の増加、気力などの人生の質(Quality of life)の低下に関係することが知られています。この治療としては下垂体腫瘍に対する手術、薬物療法による腫瘍縮小で性腺機能が改善する事もありますが、困難な場合は、性腺の補充が必要な場合がありますので、主治医にご相談ください。特に、治療せずにそのままにしていると、先ほども述べた通り骨粗鬆症の原因となるため、骨折を予防するためにも適切な性腺ホルモンの補充は重要です。また、女性ホルモンはGHの作用を抑える働きがあるため、エストロゲンが低下していると、GHの作用が高まっている可能性があります。これらは性腺機能が低下している患者さんが治療の対象ですので、主治医にご相談ください。

以上、本日は先端巨大症の合併症と、その治療についてのトピックスをお話しさせて頂きました。気候の変化も激しく、感染症も気になる季節ですので、皆様どうぞご自愛ください。

## ■ 今後の予定

### ■ 交流会

- 2020年03月  
日時は決定次第HPにてお知らせします。  
場所：森山脳神経センター病院

## ■ 問い合わせ先

〒270-2261 常盤平駅前郵便局留  
下垂体患者の会 事務局  
[info@kasuitai.lolipop.jp](mailto:info@kasuitai.lolipop.jp)  
070-5660-7182